
令和 4 年 度

事業報告書

社会福祉法人育美会
花の人の家

令和4年度事業報告

1.施設全体での生活支援、健康管理などを生活サポートを行うことが出来た。細やかな対応でコロナ対策を行い、現在感染を広げていない環境を作る事が出来ている。

今後コロナ5類への移行と共に生活をいかに安全に環境に合わせていくかを考えていく必要を感じる。

2.地域との連携

地域包括の主催する地域ネットワーク会議、埼玉県軽費老人ホーム連携会議、福原ネットワーク会議など他施設にも出向き交流を広げることが出来た。

学校、教育委員会、ボランティアの再開はコロナ環境で再開には至らなかった。来年度の課題にしていく。

3.医療機関との関わり

今年度も時間外の緊急受診が発生したが、協力医療機関である三井病院に受け入れて頂いた。

また練馬さくら病院の定期診療も継続的に行っており、入居者の安定した健康管理が行えている。

4. 生活

1)食事について

年間を通して安定した食事を提供することが出来た。見学や面談時にも食事を提供し施設の大きなアピールをすることが出来た。また、体調を考慮し刻み食やおかゆなど細かく対応できた。

2)クラブ活動

年度途中から先生たちの体調不良などが続き、いくつかの教室がお休みになってしまう事があった。先生たちの年齢、健康状態なども鑑み、新しい教室も模索していく必要を感じた。

5. 行事計画

施設内で執り行える行事は行うことが出来たが、外に出る行事や保育園との合同の行事は執り行うことが出来なかった。またクラブ活動についても感染状況により不規則であったが行うことが出来た。

6. 会議・委員会

随時業務改善を施し行うことが出来た。議事録を取り保管する。

7. 設備修繕・改修・保守

老朽化の進んだ集会室の改修、消防署の指摘のあった設備の改修を行った。

その他、居室の整備など安全を保持するものに関しては必要に応じて修繕を行った。

8. 入居者確保

年度を通して満床を維持することが出来た。今年度も広く問い合わせがあり入居の実績とつながった。

令和2年度より施設紹介サイトへの掲載、令和3年度よりSNSのい運用を行い順調に実績に繋がっている。

1) 民生委員との連携

もう一つ進んだ連携が必要。地域のネットワーク会議でコミュニケーションを取っていく。

2) 同グループ内との連携

練馬さくら病院の診察、同グループ相談員グループでの勉強会を始め、連携が進んでいる。

同グループ施設へ入居者紹介は来年度の課題にしていく。

3) 公的機関との連携

川越市だけでなく近隣の機関からも問い合わせを頂いている。引き続き関係を強化するために受けた案件には前向きに対応していく。

4) 地域包括との連携

地域包括経由の入居者を受け入れることにより認知度が高まった傾向が見受けられる。

来年度さらに積極的に地域のネットワークや問題解決に参加し、施設の存在を高めていく努力を行う。

5) SNS・インターネット

令和2年度より開設したインスタグラムはフォロワー1,000件を超え、認知度向上に貢献している。

老人ホーム検索サイトでは年間多くの資料請求や問い合わせが多くあり、今年度契約にも結びついた。

請求の施設資料の見直し、HPの見直しなど随時行いさらなる施設のアピールを向上させ、アポイントを増やす努力を行っていく。